

2015年度

小論文A

(問題)

<H27099181>

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～3ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に丁寧に記入すること（以下の記入例参照）。所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に記入すること。
5. 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

(記入例) 58001番 ⇒

万	千	百	十	一
5	8	0	0	1

(数字見本)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

小論文作成上の注意

1. 解答文は、所定の解答用紙におさまるように、日本語で書きなさい。
2. 句読点、記号等、および改行のために生じる余白もすべて字数に含む。また、解答用紙の字数を超えて解答してはいけない。（句読点、記号等は、必ず独立した1マスを使用する。）
3. 解答は横書きとし、楷書で左から右へと書くこと。
4. 本文中に自分の氏名を書かないこと。
5. 小論文解答用紙は汚したり、折り曲げたり、破ったりしないこと。
6. 下書きは、別に配付の下書き用紙を使用すること。試験終了後、下書き用紙は持ち帰ること。

問題 以下の表は、過去10年の日本の世代別の貯蓄及び収入の変化を示したものである。表を参照して、各設問に解答せよ。解答はすべて解答用紙に記入せよ。

表. 世帯主の世代ごとの年間収入(上段)及び純貯蓄額(下段)の経年推移(単位: 万円)

項目	年次	全世代の平均	30歳未満	30～39歳	40～49歳	50～59歳
年間収入(万円)	2004	650	457	601	767	817
	2005	645	463	596	757	814
	2006	645	430	590	769	815
	2007	649	476	589	763	836
	2008	637	453	589	766	824
	2009	630	459	584	746	817
	2010	616	453	573	727	796
	2011	612	443	570	730	793
	2012	606	442	567	713	816
	2013	616	465	590	744	806
純貯蓄額(万円)	2004	1168	66	-45	223	1127
	2005	1227	63	-74	329	1166
	2006	1216	-27	-66	222	1196
	2007	1214	-132	-192	183	1103
	2008	1182	-92	-178	225	1150
	2009	1159	-79	-160	169	1141
	2010	1168	-48	-226	142	1109
	2011	1202	-29	-247	247	1037
	2012	1189	-12	-342	55	1139
	2013	1240	-45	-383	55	988

総務省統計局「家計調査報告(貯蓄・負債編) 平成25年(2013年)平均結果速報」を元に作成

(注) 純貯蓄額とは貯蓄の現在高と負債の現在高の差分である。なお、負債高は、住宅や土地の購入や教育ローンなどの借入金を示す。

【設問1】ゼミに所属する学生3人と教員が、表を題材として議論を行った。その際の記録(会話文)を読み、あとの問いに答えよ。

教員: 日本の家庭の貯蓄はあなたの国と比べて多いかな? 少ないかな?

学生A: 私の国ではこんなに多くの貯金をする事はないです。毎日の生活でどんどんお金が出ていってしまいます。こうして日本に来ることができたのも、奨学金に採用されたからです。

学生B: でも、日本の家庭って、そんなに貯金があるのかな? 僕の家にはそんなに貯金はないし、周りを見ても羽振りは良くないよ。

学生C: 一部のお金持ちが平均をつり上げているだけじゃないかな。

学生A: 日本は私の国に比べて貧富の差は小さいし、平均的な家庭は多いと思うけど。

学生B: 平均って何だろう?

学生C: 「20、20、20、20、20」の平均は20だけど、「5、5、5、5、80」の平均も20だよ。

学生B: 僕の家はきっと5のうちの一つなんだよ。

学生A: じゃあ、私がみている日本人はみんな5なのかな。

学生B: 普通の生活をしている日本の家庭の平均をとるべきだよ。

学生C: 恣意的にサンプリングしたら正しい平均にならないよ。

教員: 同じ平均値であっても、平均値の付近にデータが集中している分布もあれば、平均から遠く離れたところまでデータが広く分布することもある。分布の状況を知るためにはほかにどんな統計値をみるべきかな?

学生C: 平均値だけでなく、各家庭の貯蓄額の(1)を見るべきです。具体的には(2)か(3)を求めればいい。

学生B: なるほど。このような値を計算すれば、少数のお金持ちが平均をつり上げている様子が数値でわかるんだね。

教員: ところで、なぜ貯金をするんだろう? 日本では貯金は良いことと思われ、貯金がないことは悪いことと思われている。

学生C: 個人が貯金するのは将来の生活に不安があって、備えをしているからです。

学生B: アリとギリギリスの逸話にたとえるならば、日本人は(4)だ。

学生A: 私の国では自分で働いて得たお金は自分で好きに使ってよいという考えが支配的で、貯金することは良いこととは言われていません。ギリギリスは夏の間は歌を歌って人生を楽しむけれど、アリは働いてばかりで楽しみがないと思います。

学生C: 冬の時代が来て生活に困るかもしれないという危惧を優先しているだけで、人生を謳歌したくないということではないと思う。働くこと自体が楽しいのかもしれないし。

学生B: 僕の家は貯金は平均よりも少ないけれど、楽しく生活しているよ。家族旅行とかも毎年行ってるよ。君の国では貯金がないことはそんなに恥ずかしいことじゃないのかな?

学生A: そうよ。貯金するために働くなんて、どうしてそんなことが良いこととされているかわからないわ。

教員：戦後の日本は、ものづくりに励み、それを諸外国に売って外貨を稼いで国内に貯蓄することによって復興したんだ。その名残で貯金は美德なんだよ。

学生B：この表の高齢世帯はそうして日本の高度成長を支えてきた人たちだよ。

学生C：それでも、年金制度で高齢者を支えているのは現役の勤労世代なのに、支えられている高齢世代のほうが貯金がたくさんあるのは矛盾していると思う。

学生B：おじいちゃんとおばあちゃんは僕が小さい頃にはお年玉やお小遣いをたくさんくれたのに、大学生になったらもうくれないんだよ。

教員：でも、君の学費の一部は出してくれているかもしれないよね。ところで、日本の家庭の貯蓄はいくらあるかという統計で、全世代を平均するということにどんな意味があるんだろうか？先ほどB君は「普通」の日本の家庭の平均をとるべきって言ったけれど、世代によって生活の形が大きく違うのであれば、全世代を平均してしまうとかえって「普通」の平均像が歪んでしまうよね。

学生C：つまり、世代ごとの平均値をみたほうが、私たちの実感に近いかもしれないということですね。

教員：目的に応じて平均をとる集団を決めることも重要です。そういう数値の見方は必ずしも恣意的な捉え方であるとは限りませんよ。

問1. 文中の（ 1 ）～（ 3 ）に入る用語の組み合わせとしてもっとも適切なものをA～Dから一つ選び、その記号を解答欄に記せ。

- | | | | | | | | |
|----|---------|--------|--------|----|--------|--------|---------|
| A: | 1. 総額 | 2. 合計値 | 3. 中央値 | B: | 1. 散布度 | 2. 分散 | 3. 標準偏差 |
| C: | 1. 度数分布 | 2. 標本数 | 3. 最頻値 | D: | 1. 尤度 | 2. 最小値 | 3. 最大値 |

問2. 文中の（ 4 ）に入る言葉としてもっとも適切なものをA～Dから一つ選び、その記号を解答欄に記せ。

- | | | | |
|-------|-------|-------|----------|
| A: 親切 | B: 丁寧 | C: アリ | D: キリギリス |
|-------|-------|-------|----------|

問3. 上記の会話文の内容と合致するのは以下の文章のどれか。もっとも適切なものをA～Dから一つ選び、その記号を解答欄に記せ。

- A: 学生Aはごく一般的な家庭で育った日本人学生である。
- B: 学生Aは多額の貯金がある家庭に育った日本人学生である。
- C: 学生Aは貯金することをそれほど重視しない留学生である。
- D: 学生Aは貯金の多い日本人を尊敬している留学生である。

問4. 上記の会話文の内容と合致するのは以下の文章のどれか。もっとも適切なものをA～Dから一つ選び、その記号を解答欄に記せ。

- A: 学生Bの家は平均よりも多くの貯金があり、おかげで旅行を楽しむことができる。
- B: 学生Bは高度成長を支えた高齢世帯に対して根強い不信感を持っている。
- C: 学生Cの家は多額の貯金があるため、貯蓄の平均額を上げている。
- D: 学生Cは議論を積極的に進めたり、まとめたりすることができる有能な学生である。

問5. 上記の会話文の内容と合致するのは以下の文章のどれか。適切なものをA～Fから二つ選び、その記号を解答欄に記せ。

- A: 全世代を平均化して論じるだけでなく、世代間の特徴を比較すべきである。
- B: 時系列的な変化を重視した歴史的な視点をもつことで現在の特徴が見えてくる。
- C: 高齢世帯の貯金が多いのは年功序列賃金という制度の歪みによってもたらされた。
- D: 不景気が続く日本では、それに備えて貯金をするという習慣が根付き、現在に至る。
- E: 平均値のような記述統計の場合、平均をとる集団を適切に設定する必要がある。
- F: 平均値は単純過ぎる統計値であるため、貯蓄の現状を理解することに適していない。

【設問2】表から読み取れることについて、以下の「答案作成上の注意点」に沿って整理し、5～10分程度のゼミ発表をあなたが行うという想定で2枚の発表スライドを作成せよ。なお、設問1の会話文については、必ずしも触れる必要はない。

答案作成上の注意点：(1) 2枚目の発表スライドにはあなたの出身国と日本の状況の比較について必ず触れること、(2) あなたが作成したスライドについては、(a) 内容に誤りがないか、(b) 扱われている情報に過不足はないか、(c) 各発表スライドに適切なタイトルが付けられているか、(d) 図表やイラストを効果的に用いているか、(e) 数量的な表現がなされているか、(f) 発表における論理構造がスライドのレイアウトに反映されているか、等の観点から評価されるものとする。

【設問3】2枚のスライドの要点を300字以上500字以内の日本語で記述せよ。

[以下余白]

小論文 A 解答用紙

<H27099181>					
受験 番号	万	千	百	十	一
カナ氏名					
氏名					

(所定欄以外に番号・氏名を書いてはならない)

2 0 1 5 年 度

小論文 A

(解 答 用 紙)

No.

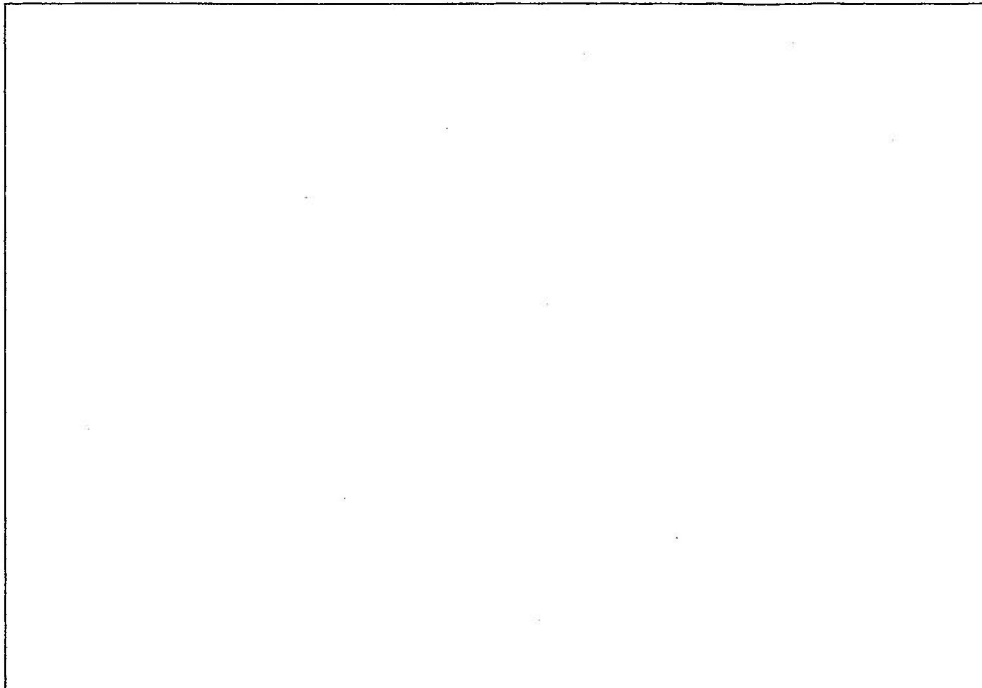
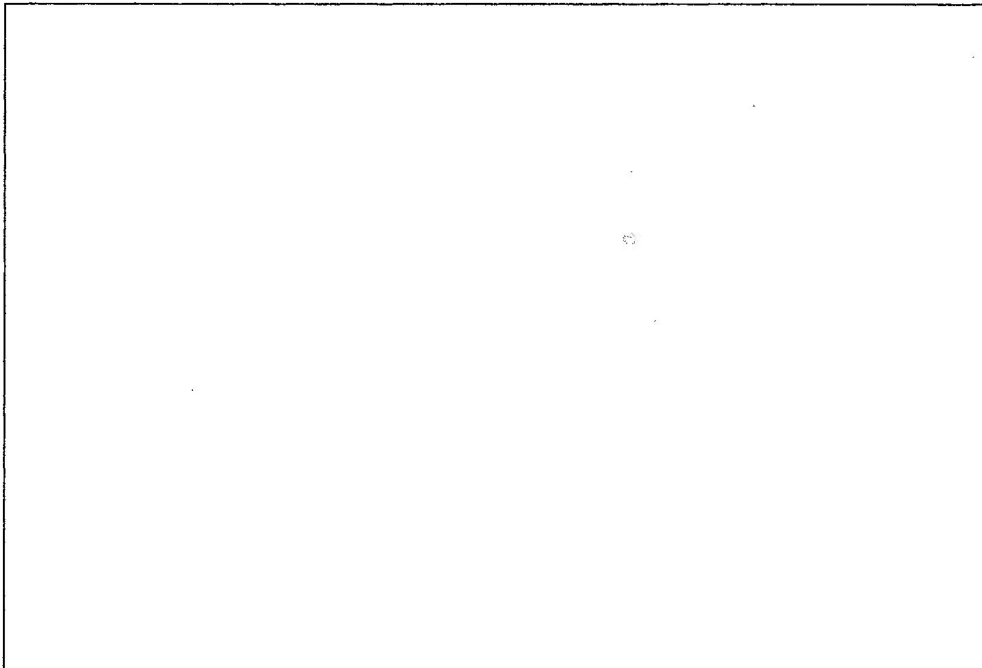
1

／

1

採 点 欄

設問 1	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

設問 2	スライド 1 枚目 
	スライド 2 枚目 

[illegible]